機能ID	中項目	機能名称	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
0340018	5.3 操作権限管理	操作権限管理	・IDパスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0340019	5.3 操作権限管理	操作権限管理	・複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0340020	5.3 操作権限管理	アクセスログ管理	・個人情報や機密情報の漏えいを防ぐために、システムの利用者及び管理者に対してログを管理（取得・検索・抽出・参照・ファイル出力を指す）できること （IaaS事業者がログについての責任を負っている場合等、パッケージベンダ自体がログを提供できない場合は、IaaS事業者と協議する等により、何らかの形で本機能が地方自治体に提供されるようにすること）	実装必須機能			令和8年4月1日
0340021	5.3 操作権限管理	アクセスログ管理	・ログイン認証ログを管理できること	実装必須機能			令和8年4月1日
0340022	5.3 操作権限管理	アクセスログ管理	・操作ログを管理できること ※個人番号（マイナンバー）の出力は禁止とする	実装必須機能			令和8年4月1日
0340023	5.3 操作権限管理	アクセスログ管理	・イベントログ、通信ログ、印刷ログ、エラーログを管理できること （EUC機能が動作するOS、運用管理ツール、DB等におけるログでよい） ※個人番号（マイナンバー）の出力は禁止とする	実装必須機能			令和8年4月1日
0340024	5.3 操作権限管理	アクセスログ管理	・取得した各種ログは、地方自治体が定める期間保管でき、書き込み禁止等の改ざん防止措置をとること 例）保管期間は、イベントログは直近1年間、操作ログは5年間とする等	実装必須機能			令和8年4月1日
0340025	5.3 操作権限管理	保存期間を経過した情報の削除機能	・法令年限及び業務上必要な期間（保存期間）を経過した情報について、物理削除できること ・個人番号利用事務においては、保存期間を経過した場合には、個人番号及び関連情報をできるだけ速やかに物理削除できること ・保存期間は、各地方公共団体が任意で指定できること	実装必須機能			令和8年4月1日

備考
実装必須機能：地方公共団体情報システムに必ず実装しなければならない機能
実装不可機能：地方公共団体情報システムに実装してはならない機能